

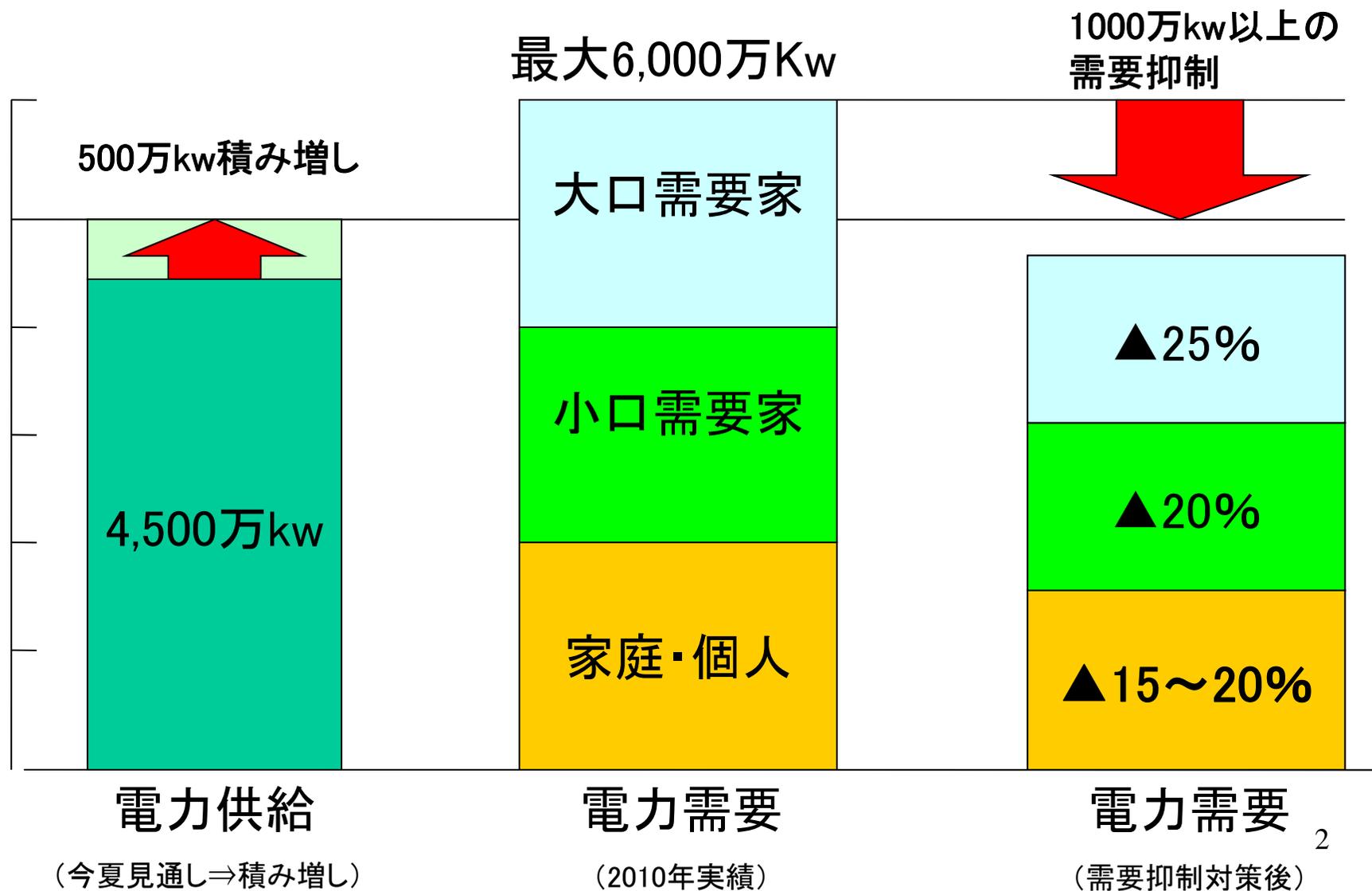
# 夏期電力需要抑制に向けた 輪番休日・夏期休暇シフトのご提案

2011年4月

一般社団法人日本自動車工業会

# 政府「電力需給対策本部」夏期電力需給対策の骨格

以下の需給対策により、計画停電を回避



## 自工会の基本的な考え方

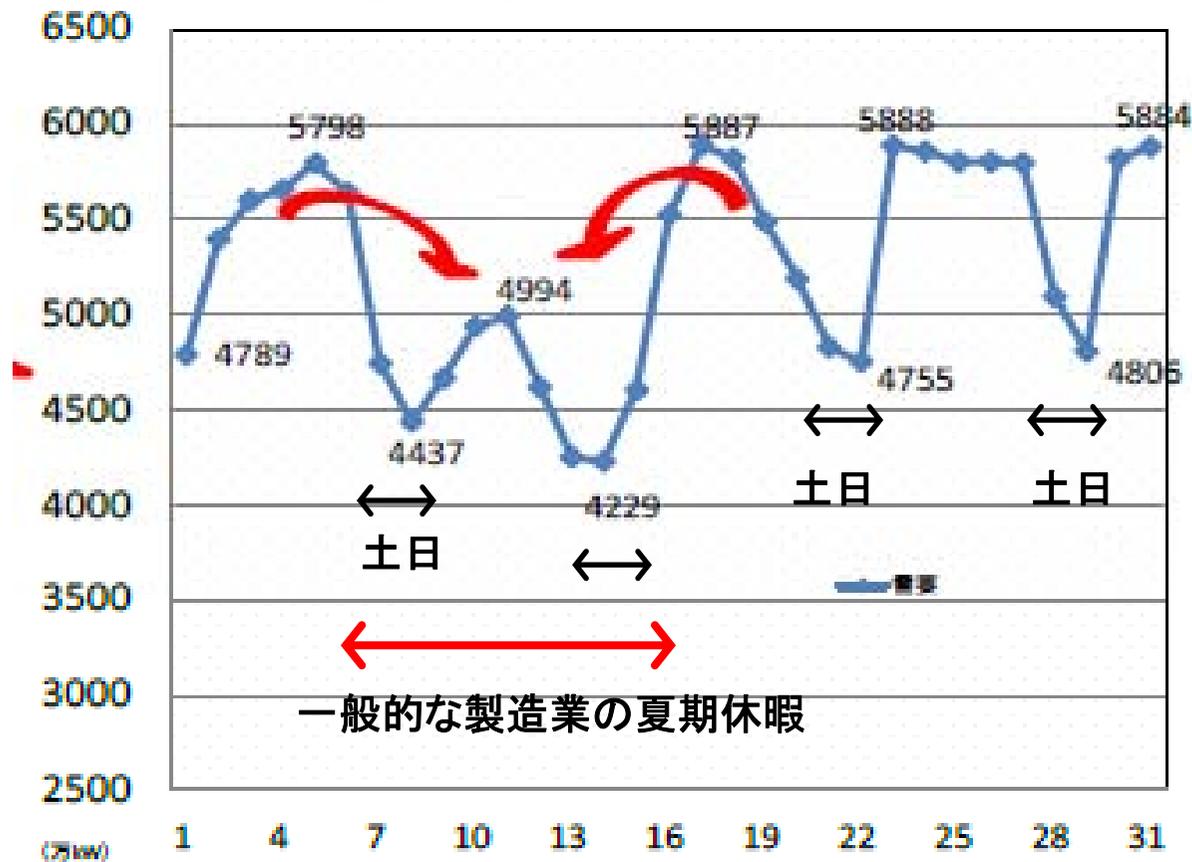
(1) 生産活動に影響を与えないことを前提に、計画停電を回避するため、各社は個別に最大限の節電努力を行う

(2) それと並行して、より大きなピーク電力需要抑制効果を得るために、産業界を挙げた取組み(複数業界・企業等での輪番による休日・長期休暇)を実現し、ピーク電力需要抑制と産業活動の両立を目指す

# 電力需要の発生パターン

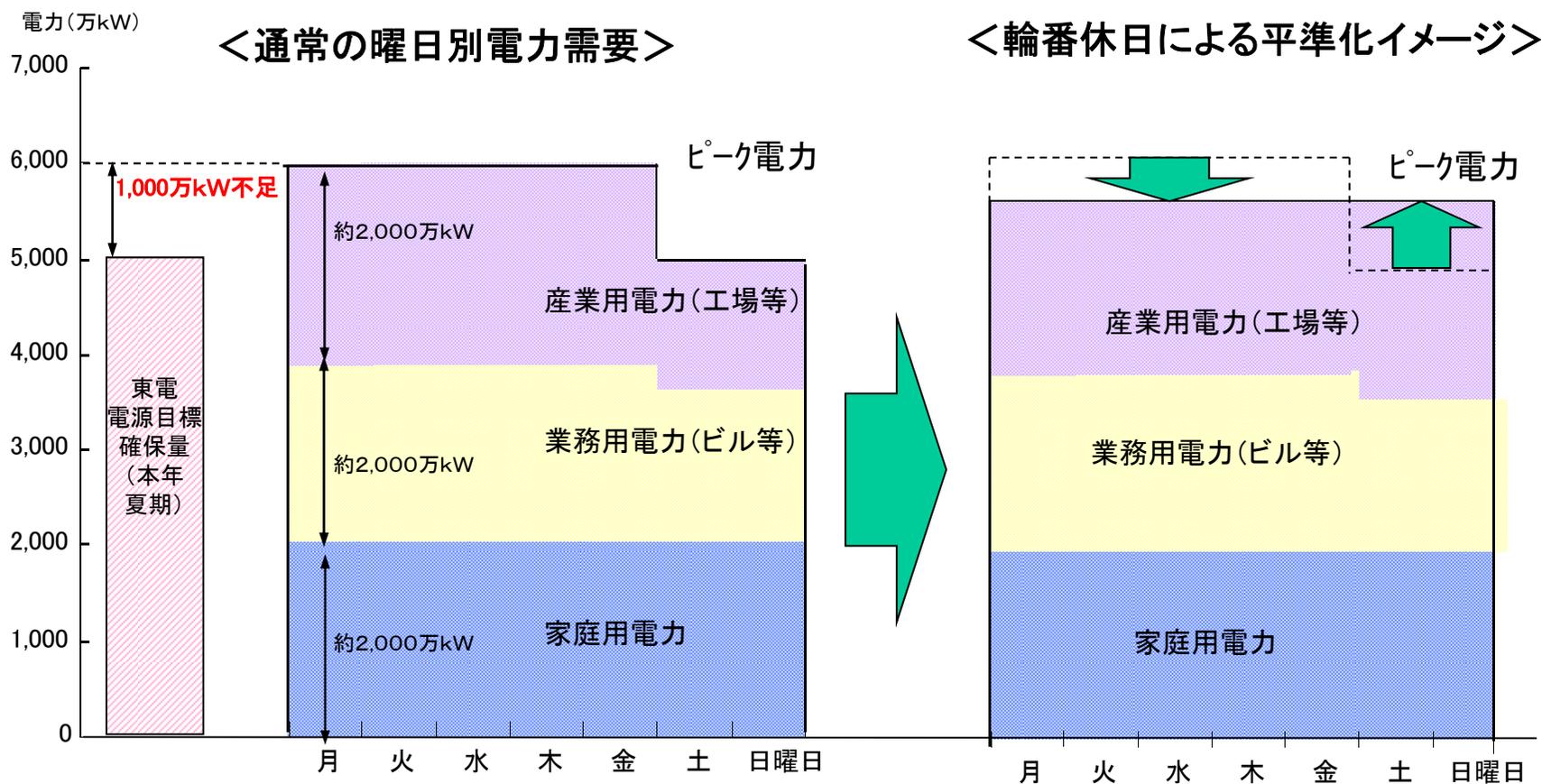
平日のピーク需要約5,800万Kwに対して、土日は約4,800万Kw、夏期休暇時には4,400万Kw～4,200万Kwと、平日と休暇時の電力需要には大きなギャップあり

## 東京電力 需要の推移(平成22年8月)



# 輪番休日による電力需要平準化のコンセプト

休日が土日に集中することによる平日・休日の需要ギャップを、輪番休日によって平準化し、稼働時間を短縮せずに、平日のピーク需要を抑制することが可能



# 具体的な輪番休日のイメージ

ピーク電力ができるだけ均等な7つのグループ(複数業界・企業等)で、輪番で休日を取得

⇒ **通常のフル稼働を行ったままで(生産活動に影響を与えず)、平日のピーク電力を抑制することが可能**

(注: 数字はイメージ、実際の平日・休日の需要の差により、平準化効果は異なる)

<現状>	(単位: kw)						
	月	火	水	木	金	土	日
Aグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Bグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Cグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Dグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Eグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Fグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Gグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
ピーク電力	7000	7000	7000	7000	7000	2800	2800

平日のピーク需要7000⇒5800kw(▲17%)

	月	火	水	木	金	土	日
Aグループ	1000	1000	1000	1000	1000	400	400
Bグループ	1000	1000	1000	1000	400	400	1000
Cグループ	1000	1000	1000	400	400	1000	1000
Dグループ	1000	1000	400	400	1000	1000	1000
Eグループ	1000	400	400	1000	1000	1000	1000
Fグループ	400	400	1000	1000	1000	1000	1000
Gグループ	400	1000	1000	1000	1000	1000	400
ピーク電力	5800	5800	5800	5800	5800	5800	5800

# 自工会によるシミュレーション・前提条件

◆2010年の実績値を用いて、自工会の中で下記二施策を導入した際の効果を検証

## (1) 輪番休日

- ・12社を極力、需要が均等になるよう7つにグループ分け
- ・7つのグループを①月火、②火水、③水木、④木金、⑤金土、⑥土日、⑦日月で輪番休日とし、各曜日で常に2つのグループが休暇を取得するよう平準化

## (2) 夏期長期連休

- ・8/6～14で取得する夏期連休を、学校が夏休みに入る7/25から8月末まで約1ヶ月間(4週間)で分散して取得
- ・12社を極力、需要が均等になるように4つにグループ分け
- ・通常のお盆休みを出来るだけ避ける形で、各グループごとに夏期長期連休を設定

# 自工会によるシミュレーション結果

輪番休日で15%強、夏期連休シフトで3%強のピーク抑制効果が見込める

[単位:千kw]

		2010年	2施策導入後	効果
7月	平日	700	平均570	平日のピーク ▲18%
	土日	330		
8月	平日	700	平均550	平日のピーク ▲21% (夏期連休シフト分で3~4%)
	土日	320		
	お盆 8/6~14	300		
9月	平日	700	平均580	平日のピーク ▲17%
	土日	290		

## 複数業界・企業等による輪番休日・長期休暇シフトのご提案

○自工会のピーク電力需要は、わずか70万kw(東電管内)であり、大口需要家の4%に過ぎない

○是非とも、多くの業界に「稼働時間を減らさずに賢くピークを抑制する」という輪番休日、夏期休暇シフトのコンセプトをご理解いただき、より大きな規模での実行に向け、仲間作りをして参りたい

○最終的には、A業界・企業が月・火、B業界・企業が火・水・・・のように、複数業界・企業等での輪番休日、夏期休暇のシフトを実現させ、電力需要の抑制と産業活動の両立を実現したい

## 今後の進め方

○4月末予定の政府の節電策とりまとめに向け、複数業界・企業等で横断的な輪番休日、長期休暇シフトを4月18日の週までに具体化していきたい

○趣旨にご賛同いただいた業界様には、電力需要データ等を持ち寄っていただき、当局とも相談の上、具体的なシフト案をご相談させていただきたい